

公表 事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		クローバーの森		公表日		8年 1月 23日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	・町の体育館なども活用し運動も十分にできるように配慮している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	・アルバイトの活用で必要に応じて個別対応も行っている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	・自主的に行動できるように視覚的なイラストや用具も用意をしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	・毎日の消毒はかかさずに行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	・学習時は必要に応じて集中できるように個別室なども活用している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	・可能な限りフィードバックを行い全スタッフが全利用児の把握に努めている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・評価表だけではなく保護者からの要望があった場合も可能な限りの対応に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・サポートリーダーを中心として一人一人が気づきや意見を自由に伝えられる環境に努めており実行に向けた取り組みにつなげている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	・年に1度、第三者委員会で報告を行いそのうえで改善につなげられそうな事柄に関しては柔軟に対応していくよう努めている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・資質向上のために外部研修だけではなくオンライン研修なども活用し取り組んでいる。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	・ホームページで公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	・利用児や保護者の要望を確認しながら行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・立案時は全職員で共通理解を図り支援につなげられるよう話し合っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1		・今後はツールを用いた活用に努める。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	・様々な視点からねらいを設定し支援内容を検討するようにしている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	・全員で案を持ち寄りながら立案を行っている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・前年度の計画を土台にしなが その年の子ども達の様子を見 マンネリ化しないように努め ている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	・基本は集団活動だが、必要の に応じて個別対応をする場合 もある。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	・毎朝、申し送りを行いその日 の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	・終了後は難しいので次の日 に行うようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	・担当が記録を取りPCDAサイ クル活用で次の支援に繋げ ている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	・支援経過や成長の様子を職 員間で共有し、状況に応じた 見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	1	・組み合わせに配慮している が偏りも見られる。	・今後、偏らないようにバ ランスよく組み合わせたい
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	・自己選択、意思を伝えるよ うな関わりを心がけている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	・担当が参加	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	・町の会議等に積極的に参加し情報交換を行っている。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	1	・時間割を入手し送迎には不備のないようにしている。	・連絡ミスもあるので下校時間の把握に努める。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	・情報共有できている。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	・対象児なし	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2	・地域のスーパーバイズの助言を受けられるような機会を設けている。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	・地域施設の活用による交流を行っている。 (体育館、改善センター、保育園など)	
	33 (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0	4	・参加していない。	・自立支援協議会の動向を探り参加する方向で検討したい。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・日々のフィードバックや職員会議等で子ども達の状況を把握し支援の内容を共有するように努めている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0		・来年度はペアトレを開始する方向で検討している。
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	・重要事項説明と一緒にしている。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		・どうしても保護者の意向中心になってしまいが利用児の声や表情などからも気持ちを探ってきたい。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	・同意を得ている。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・相談や要望に関しては、可能な限り対応するようにしている。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0	・行事などを通じてきょうだいも交流できるようにしている。（今年度は夏まつりやクリスマス会、キッズヨガなど）	
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・第三者委員会の体制を整えている。	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	・毎月おたよりを発行している。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・鍵付きのロッカーに保管している。	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・利用児の様子を写真などを通じてわかりやすく伝えられるよう工夫している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2	・町の公共施設を利用するなどの交流を図っている。	・中には交流を拒む児童もいるので個々対応に配慮する。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	・マニュアルは作成している。	・内部研修として必ず年に一度は見直すようにする。
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	・BCPを作成し、見直しを行っている。	・次年度も計画の見直しを行い時代に合った計画に変更していくようにする。
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	・利用する前に必ず確認するようにしている。	・利用する前に必ず確認するようにしている。
	49 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	・利用する前に必ず確認するようにしている。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	・安全計画を作成していると同時に年度末に見直しを行い次年度に備えている。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	・家族への周知がなされていなかったため今後月のおたよりなどを通して取り組みを伝えていくようにする。	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・ヒヤリハット報告書を作成し職員間で情報を教諭し再発防止に努めている。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	・外部研修に参加し得たことを伝達し虐待を未然に防ぐように努めている。	
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	・基本的には身体拘束は行わない方向で共通理解を図っている。	